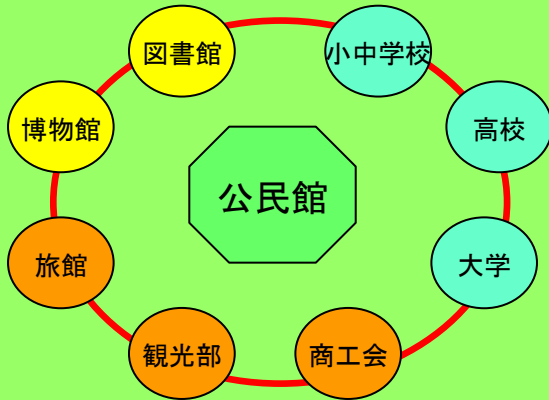


アジアにおける文化発信拠点としての公民館の機能強化 (日本文化の発信・国際文化交流の推進)

基礎情報(東アジア/全体)
 留学生:12万人/14万人
 在日外国人:85万人/156万人
 観光客:449万人/679万人
 (東アジア:中国(台湾・香港含む)・韓国・ASEAN)

公民館

東アジア交流協議会の設置



日本に滞在している外国人の大半は東アジアからの方々であり、市町村単位の交流が多い。

公民館での語学講座
 図書館で東アジアに関する書籍の貸与
 博物館で東アジアに関する展示

旅館等での観光客の呼び込み
 在日外国人・留学生による文化交流
 商店街でのインターンシップ

大学等教員の出張授業
 東アジア及び日本の高校生の合同合宿
 小中学校の総合学習の講師

公民館国際交流推進会議

- (1) 日本の公民館制度を東アジア諸国に発信したり、日本の公民館と東アジアCLCの相互交流を推進するための事業の企画・実施、国内外の関係者(政府、研究所、大学、関係団体等)との連絡調整を行う。
- (2) 海外の状況を踏まえ、日本の公民館の活性化に反映させるための方策を検討する。

国際会議

- (1) 東アジア諸国のCLC関係者(政府、CLC等)を招待し、各国のCLCの現状と課題を把握し、日本の公民館との交流方策についてディスカッションを行う。
- (2) 日本の公民館関係者を招き、公民館関係者の国際交流の契機とする。

東アジア

東アジア諸国CLCの課題

日本ユネスコ協会連盟の「世界寺子屋運動」により、東アジアには数多くのCLC(Community Learning Centre)が設置されている。平成19年度までにアジア太平洋地域に456カ所設置

アジア各国CLC数

・タイ 約8,000館 ・ベトナム 約9,000館
 ・インドネシア 約5,000館

しかし、日本のように公民館活動を法制化している国は少なく、CLCを設置しても、その後の活動には以下のような課題がある。

○人的、資金的制約

○CLCの管理能力

○指導者の質

日本の公民館制度や
 管理・運営のノウハウを
 学びたいとの声が
 寄せられている。